

主な記事

第一次日置市総合計画 2
 まちの話題 8
 国際交流員着任 16
 市民の広場 18

HIOKI-City <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

とびおき

HIOKI JOURNAL MAY.2006



鹿児島県日置市

市の人口(住民基本台帳)
 総人口 53,017人(349)
 男 24,797人(256)
 女 28,220人(93)
 世帯数 22,294 (304)
 5月1日現在()は前月比

市の面積 253.05km²

今月の紙表



港に活気!つかみ取りも大人気
 東市来町伊作田の江口漁港で開催された「第14回ふるさと港まつり」餅まきや魚のつかみ取りなどで終日賑わいました。
 (詳しくは次号でお知らせします。)



北地区は伊集院地域の北部に位置し、北東部は鹿児島市(旧郡山町)北西部は東市来地域と接し、十四の自治会で構成され、管内の面積は約十九平方メートル、伊集院地域の約三割を占め、千六百七世帯、四千五十五人が暮らします。



館長 有村義明さん

わが地域

伊集院北地区公民館(伊集院地域)

地域づくりは人づくりから

地 区活性化の母体組織を作
 り上げることが今年の第一
 目標。自立に向けた行政に頼
 らない取り組みができる地域と
 して、組織づくりと協働体制の
 確立を目指し、早く動き始め
 ました。年間活動は専門部六部
 会で計画、自治会長会でも①上
 水道の普及推進など地区全体で
 考えること②高齢者少子化対策
 など各自自治会で考えることの二
 つの大きな柱に向けて取り組む
 など地区全体が一体となりつつ
 あります。

自 助努力への道に目覚めたきつ
 かけは、上水道の普及率
 が伊集院地域内で最下位だった
 ことで、もともと自然に恵まれ
 資源が豊富にあった地域だった
 からこそ結果。今ではこの問
 題に各自自治会長も真剣に取り組
 むようになり、自治会で市担当

ス ポーツは伊集院地域内で
 も盛んな地区です。昔は、
 参加することに意義があるとし
 て地域の大会に出場してしまし
 たが、出るからには優勝を目指
 してがんばろうと、当時北地区
 の大会を開催し、各種目のルー
 ルの勉強から始めました。今で
 は公民館の年間行事に各種目で
 自治会対抗戦を組み入れ、小学
 生から高齢者まで幅広く参加で
 きるようになったことで、地域の
 親睦にもつながってきました。

地 域の核となる北小・北中
 学校。学校が元気になら
 ないと地域に元気が出ない。北
 小はこの四年間で児童数が約百
 二十名減少する少子傾向にあり
 ますが、今年学校創立五十周年
 を迎え地元でも記念事業実行委
 員会を立ち上げ、これを契機に
 地区活性化の浮揚策も検討する
 こととしています。

▲ ふるさと美化活動で地区公民館を清掃

編集たいむ

四月も終わる雨上がりの新緑の
 美しい日、「いきいき 人」の取材
 で日吉の山中へ出かけました。久
 しぶりに職場の机を離れ、清んだ
 空気と若葉の瑞々しさを感じなが
 ら林道を歩き、取材を終えるころ
 は自分が山から元気をもらったよ
 うに感じました。すこく気持ち
 いいですよ。▼最近のニュースで
 多いのが、中高生の事件。被害
 者でなく加害者としての話題。命
 の重みというか、物事の分別や痛
 みかわからない?短絡的で自分勝手?
 こんな言葉で済まされるのか。本
 当に信じられないことが多く残念
 で悲しくなります。▼私事になり
 ますが四月から広報マンとして四
 地域を取材することになった早々
 不注意で右足をケガし全治四週間。
 四が三つも並び良いのか悪いのか?
 職場で迷惑をかけながらいろんな
 人に感謝する毎日で松葉杖と共に
 生活する日々が続いています。一
 番の被害者は家族。▼何事も前向
 きに考えましょう。いろんな出会
 いを楽しみに。

12 平成18年5月号

発行/日置市役所
 総務企画部企画課
 〒899 2592
 日置市伊集院町郡一丁目100番地
 TEL 099(273)2111
 FAX 099(273)3063
<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>



「第二次日置市総合計画」を策定



市では、旧四町の歴史や文化とこれまでの発展の成果を継承しながら二十一世紀初頭のまちづくりの指針として、平成十八年度から二十七年までを計画期間とする「第一次日置市総合計画」を策定しました。

この総合計画は、本市のまちづくりの基本となる計画で、日置中央合併協議会で策定された「日置市まちづくり計画」をベースに、日置市総合計画審議会や地域審議会、住民説明会等を経て、多くの市民のみなさんのご意見などを取り入れて策定したものです。

本年二月に、日置市総合計画審議会（藤松 劫会長）から宮路市長に総合計画の答申が行われ、市ではこの答申を受け、市議会三月定例会に「第一次日置市総合計画」を提案し、原案どおり可決されました。

そこで、この総合計画を構成する「基本構想、基本計画、実施計画」について、概要を紹介します。

総合計画の趣旨

この計画は、日置市として初めて策定する総合計画で、地方自治法に基づき、地域の総合的かつ計画的な行政運営を展開するため、旧四町が策定した計画のほか、国の計画や鹿児島県の計画、合併協議会で策定した「日置市まちづくり計画」を基本に、これらの関連計画との整合を図りながら、変革の時代の社会情勢や市民ニーズを的確に把握し、市の十年後を見据えた二十一世紀初頭のまちづくりの指針として、市民と行政が協働して取り組むまちづくり計画となるものです。

「地理的特性と歴史や自然との調



▲ 地域ごとに開催された住民説明会

和を生かした ふれあいあふれる健やかな都市づくり」を基本理念として、平成十八年度から平成二十七年までの10カ年を計画期間とし、分野別と地域別の振興策を基本計画とする市行政運営の指針となります。

【お問い合わせ先】

日置市総務企画部企画課

企画調整係（内線二二六四）

【参照】

日置市ホームページ

(<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/keikakutop.htm>)



▲ 総合計画審議会で精査し市へ答申

地理的特性と歴史や自然との調和を生かした ふれあいあふれる健やかな都市づくり

～まちづくりの基本理念～

本市は、県都鹿児島市に隣接し、日常生活においても深いつながりがあります。南九州西回り自動車道の伊集院と市来インターチェンジが開設され、周辺の道路整備も徐々に進み、九州新幹線が部分開業するなど高速交通網が日ごとに向上しています。

このような状況を踏まえ、本市が一体となって、新たな地域づくりを展開するうえで、最も生かすべき条件は「六十万都市に隣接する地理的特性」と言えます。今後は、県都の西隣に位置するという地理的な優位性を最大限に生かしながら、産業の振興を図るとともに、より一層交流の輪を広げることで、定住人口の拡大を図ります。

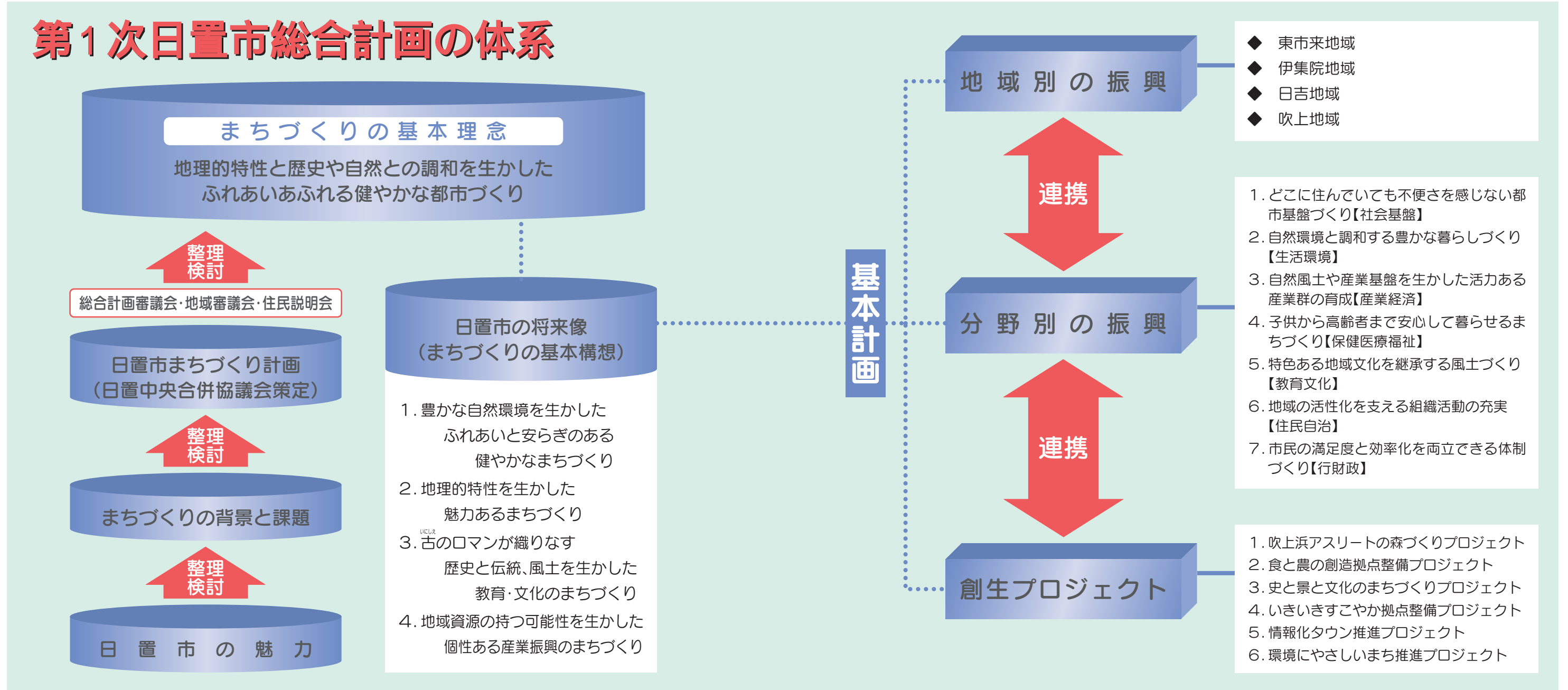
また、本市は壮大でロマンに満ちた歴史的、文化的遺産に加え、白砂青松の日本三砂丘「吹上浜」や東シナ海、さらには優れた泉質を誇る温泉など、古の情緒と安らぎに満ちた貴重な資源を数多く抱えています。

これらの恵まれた資源を活用し、市民が心身ともに健やかに過ごせるまちづくりを目指すとともに、拠点となる施設づくりや長期滞在が可能となる受け入れ体制の整備に努めることにより、集客力の向上を図り、魅力ある観光地づくりを進めていきます。

さらに、効率的で収益性の高い営農を確立するための広域的な農業基盤の整備をはじめ、作物のブランド化と体験農業等を中心とした都市と農村との交流の展開や、豊かな海の恵みを活用した水産業の振興、魅力あるにぎわい空間の創出などに努め、市内の一体的浮揚・発展を図っていきます。

このほか、市制施行に伴う規模拡大の効果を発揮しながら、各地域の有する資源を総合的に活用することにより、企業誘致の促進や交流人口の増加を図り、さらに財政基盤を強化することで、公共施設等の効率的な整備や活力あるまちづくりを一層推進していきます。

第1次日置市総合計画の体系



総合計画の構成

基本構想

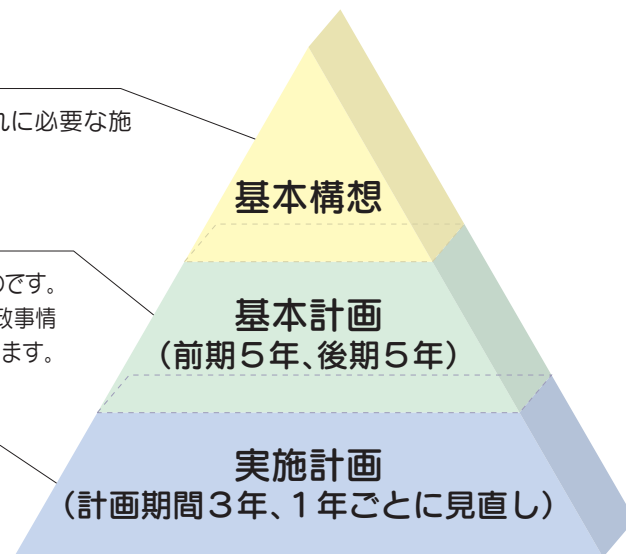
日置市のまちづくりの指針となるものです。本市の将来像とそれに必要な施策の大綱を明らかにします。市議会の議決が必要です。

基本計画

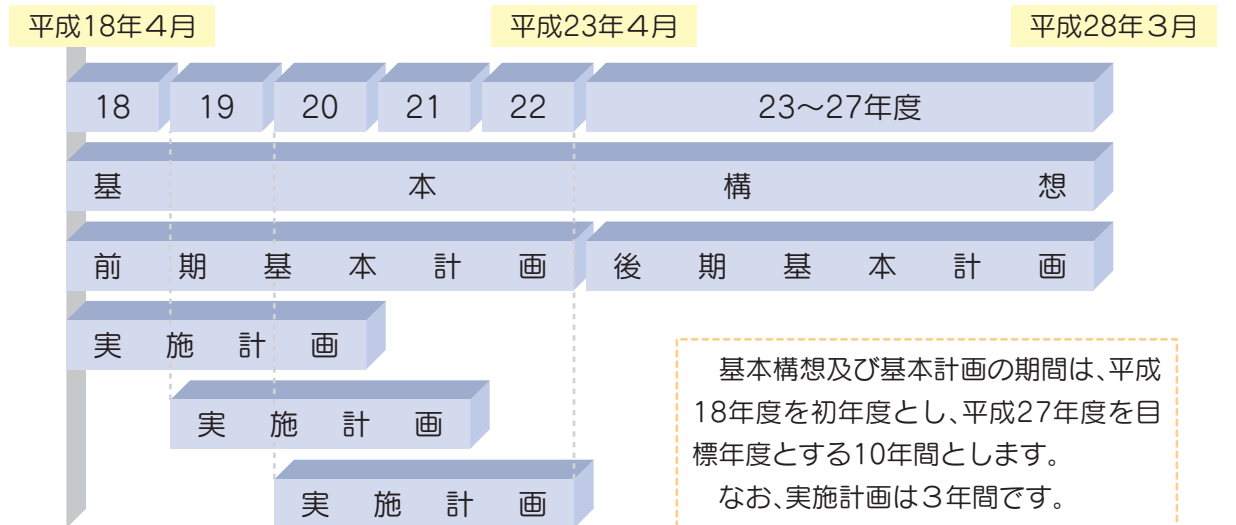
基本構想に基づき、各行政分野における施策を総合的かつ体系的に示すものです。基本計画は平成27年度を目標年度としていますが、様々な要因により行政事情の変化等が予想されるため、策定後5年を目途に見直しを行うこととしています。

実施計画

基本計画で定めた施策を計画的かつ効率的に実施するために定められ、向こう3年間の年次計画を1年ごとに見直す短期の計画です。毎年度の予算編成や事業実施の指針となります。



計画の期間



平成18年度実施計画

地域ごとの主な事業

東市来地域



土地区画整理事業

伊集院地域



まちづくり交付金健康増進施設整備事業

日吉地域

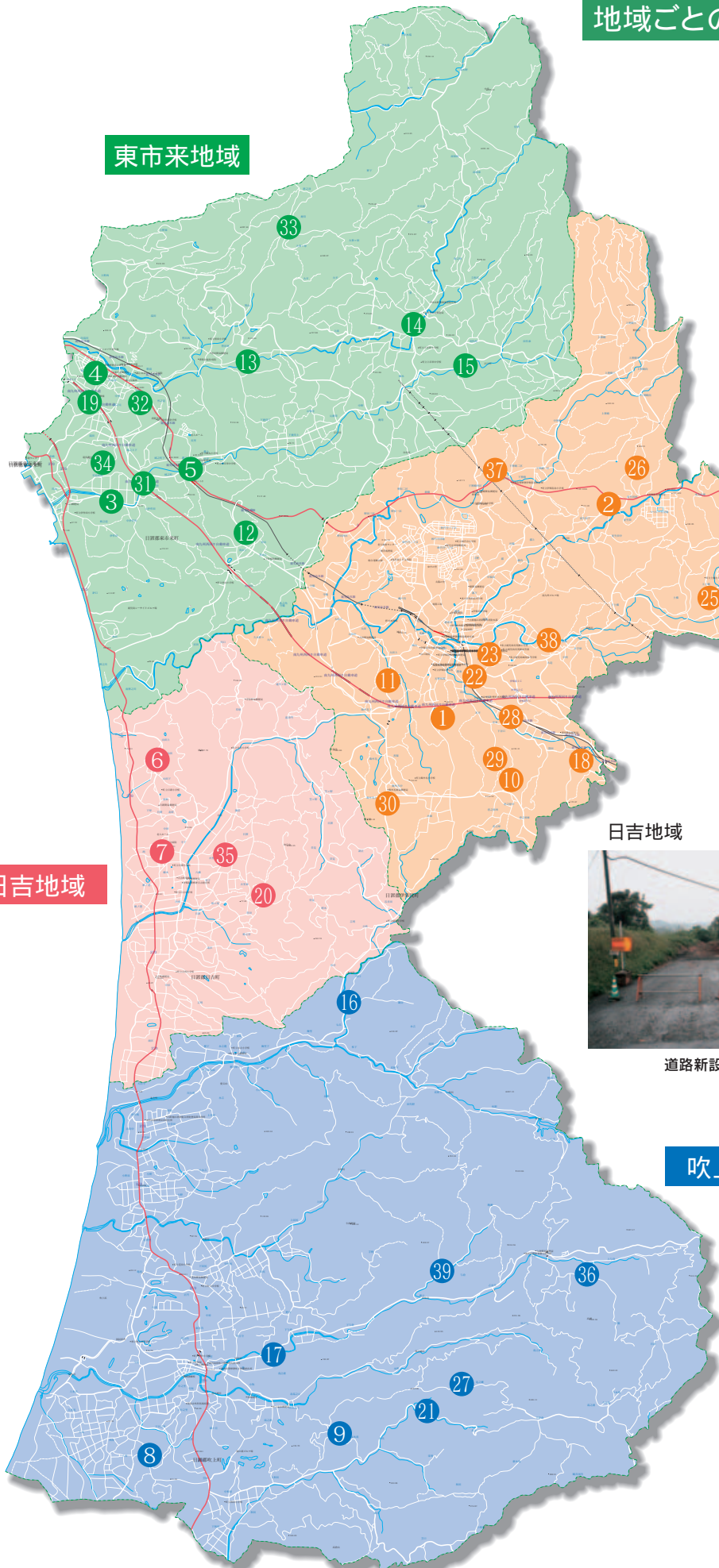


道路新設改良事業

吹上地域



活動火山周辺地域防災営農対策事業



日置市全体の主な事業

- 社会基盤** ●地域コミュニティバス運行 ●地域イントラネット基盤施設整備事業 ●道路新設改良事業(一般道路整備事業、地方特定道路整備事業、地方道路整備臨時交付金事業、まちづくり交付金市道整備事業、半島振興地域道路整備事業、辺地対策事業、道整備交付金事業、過疎対策事業)
- 生活環境** ●公営住宅建設事業 ●クリーンリサイクルセンター運営事業 ●肉骨粉適正処分緊急対策事業 ●県単補助治山事業 ●がけ地近接危険住宅移転事業 ●浄化槽設置整備事業 ●水槽付消防ポンプ車 ●消防施設(消防車、資材、防火水槽)整備事業 ●防犯対策事業
- 産業経済** ●中山間地域等直接支払交付金事業 ●新規就農・後継者育成事業 ●農業振興育成事業 ●かごしま園芸タウン産地条件整備事業(伊集院・吹上) ●畜産基盤再編総合整備事業 ●農道等施設整備事業 ●森林整備地域活動支援事業 ●商工業振興事業 ●イベント補助事業
- 保健医療** ●感染症予防接種事務 ●がん検診等事業 ●重度心身障害者医療費助成事業 ●児童居宅事業
- 福祉** ●身体障害者施設事業 ●知的障害者施設事業 ●休日保育事業 ●生活保護費支給事業
- 教育文化** ●幼児教育支援センター事業 ●スクールカウンセラー配置事業 ●青少年教育事業 ●まちづくり交付金健康増進施設整備事業 ●文化事業 ●文化財保護事業 ●外国青年招致事業
- 住民自治** ●中央・地区公民館学級講座活動事業 ●まちづくり交付金集会所施設建設事業
- 行財政** ●男女共同参画事業 ●行政改革推進事業 ●地籍図数値化事業 ●老人保健医療特別会計繰出金

地域ごとの主な事業

- 【東市来地域】**
 - 道路新設改良事業 ●3長里川北線(舗装工事) ●4堀内下原線(改良・舗装工事) ●5長里団地5号線(舗装工事) ●12鹿児島東市来線(県営事業) ●13山田湯之元停車場線(県営事業) ●14仙名伊集院線(県営事業) ●15養母長里線(県営事業) ●19長里市来線(改良・舗装工事) ●31長里市来線(橋梁下部工事) ●32湯之元山田線(改良・舗装工事) ●33皆田鉾谷線(改良・舗装工事) ●34遠見番山公園線(改良・舗装工事)
 - 土地区画整理事業 ●紙屋敷団地C棟建築工事 ●県営中山間地域総合整備事業 ●江口浜海浜公園整備事業
 - 物産館増築整備事業 ●県営農地侵食防止事業(伊作田地区、皆田地区) ●湯田小校舎新増築工事
- 【伊集院地域】**
 - 道路新設改良事業 ●1京之塚線(改良・舗装工事) ●2中岡線(改良・舗装工事) ●10下谷口恋之原線他(排水路等工事) ●11伊集院日吉線(県営事業) ●18窪田線(改良・舗装工事) ●20新宮線(改良・舗装工事) ●23新宮朝日ヶ丘線(改良・舗装工事) ●24新村中川線(改良・舗装工事) ●25土橋竹之山線(改良・舗装工事) ●26麦生田上神殿線(改良・舗装・橋梁工事) ●28市来四郎園線(改良・舗装工事) ●29下谷口恋之原線(改良・舗装工事) ●30宮脇線(改良・舗装工事) ●37下神殿線(改良・舗装工事) ●38徳重清藤線(橋梁工事)
 - 土地区画整理事業 ●中園団地2号棟建築工事 ●県単農業農村整備事業(樋掛地区) ●妙円寺小校舎外壁改修事業
 - 県営中山間地域総合整備事業 ●伊集院中校舎改築実施設計委託 ●給食センター消毒保管庫更新
 - まちづくり交付金健康増進施設整備事業
- 【日吉地域】**
 - 道路新設改良事業 ●6山田線(防護柵工事) ●7塩屋堀線(舗装工事) ●20笠ヶ野線(改良・舗装工事) ●26庄の中線(改良・舗装工事)
 - 県単農業農村整備事業(二石地区) ●県営灌がい排水事業 ●吉利小法面工事 ●住吉小法枠ブロック施工
 - 日置、住吉、日新、吉利小渡り廊下新設工事 ●吉利古城遺跡調査事業
- 【吹上地域】**
 - 道路新設改良事業 ●8笠岡今田線(舗装・排水路工事) ●9中之里塩水流線(改良・舗装工事) ●16永吉入佐線(県営事業) ●17谷山伊作線(県営事業) ●21和田平鹿倉線(改良・舗装工事) ●27永野竜之瀬線(改良・舗装工事) ●36赤仁田日添線(改良・舗装工事) ●39林道駒田線(舗装工事)
 - 活動火山周辺地域防災営農対策事業 ●県単農業農村整備事業(中田尻地区) ●吹上漁港浚渫工事
 - 永吉小体育館格子取付 ●伊作小プールろ過装置取替え ●スクールバス運行委託

相撲体操を披露する伊作田小児童



高校生は迫力が違います



彼岸相撲

元気な豆力士、ハッケヨイ、ノコッタ、ノコッタ!

第34回彼岸相撲大会

穏やかな春分の日... 恒例の彼岸相撲大会が市営相撲場... 開催され、東市来地域内の小・中学生や鹿児島市内の高校相撲部など170人が、団体・個人戦で手に汗握る熱戦を繰り広げました。

また、伊作田小児童による相撲体操と相撲甚句が披露されると、会場から大きな拍手が送られました。

この大会の創始者は、明治20年東市来町に生まれ、天才的な相撲で県内に知れ渡った「白糸関」(吉田 森太郎氏)です。この彼岸相撲は、娯楽のなかった湯之

元に活気を出そうと大正2年に始まり、現在では地域の伝統的行事として親しまれています。

団体・個人戦の優勝は、次のとおりです。

団体戦

小学生 鶴丸小A・中学生 上市来中・高校生 鹿児島商業

個人戦

- 小4男子 坂元 薫(湯田小) 小5男子 上園 隆太(伊作田小)
小6男子 野間口 和輝(鶴丸小) 小4女子 佐野 優希菜(鶴丸小)
小5女子 徳永 志織(鶴丸小) 小6女子 古城 千里(鶴丸小)
中学生 枝元 優樹(東市来中) 高校生 内良輔(鹿児島商業)



子どもたちも全力をだして対戦

東市来の歴史

後世に永く継承

東市来町誌を刊行

旧東市来町では、平成十三年度から郷土東市来町への理解と関心を深めるとともに、町の行政治革等の歴史を後世に永く継承するため、東市来町誌編さん事業に取り組み、五年の歳月をかけて、今年の三月に「東市来町誌」を刊行しました。

三月まで、東市来町誌編さん室で編さんに携わった松村優さんは、「監修をしていただいた大学の先生や資料等を提供してくださった多くの方々のご協力を得て、ほぼ予定どおり刊行することができました。多くの子どもたちが、東市来町の歴史を学んでこれからのまちづくり役に役立てて欲しい」と、話していました。

なお、この「東市来町誌」は、B5版(たて26センチ×よこ19センチ)で表紙は高級感ある紺色の布クロス生地。東市来支所地域振興課(☎二七四一一一一)で、一冊四千円で販売しています。



B5版サイズで表紙は紺色布クロス地



▲全1114ページ(口絵は8ページ)



温泉街もにぎやかに



練習の成果がでてます?



歩行者天国ではイベントも開催

四月九日、東市来湯之元温泉街で「湯之元馬頭観音馬踊り」があり、春真っ盛りの温泉街は大勢の人で賑わいました。この祭りは、明治二十五年に牛馬の供養や無病息災の祈願祭として始まったと、伝えられる伝統ある行事。現在は湯之元クラブ(内田千年会長)が中心になって継承しています。

日置市となって初めての祭りに宮路市長も早朝から踊りに参加。ミスひおきも花を添え、色鮮やかに花飾りをした二頭のシャシヤン馬に続く踊り連として、軽快なステップで練り歩きました。踊り連は太鼓や三味線、おはやしがり響く中、約三十力所で踊りを披露。縁起のいい踊り

に見物人も思わず踊り出す場面もあり、温泉街一帯は終日、華やいた雰囲気になりました。また、温泉街の市道の一部を百人以上にわたり歩行者天国にしたところでは、木市や露店も立ち並び、祭りをいっそう盛り上げていました。

湯之元温泉馬頭観音馬踊り

温泉街は祭り一色に

春らんまん 人も馬も踊り

諏訪之原跨道橋が開通! 住民の安全と利便性を確保

30年の地域の願い

東市来町湯田地域の湯之元球場や体育館と県営・市営住宅がある諏訪之原地域を結ぶ跨道橋が完成し、4月3日、宮路市長をはじめ宇田市議会議員や地元関係者約50人が出席し、開通式が行われました。

この橋は、昭和50年代頃から当時の東市来町議会で架橋を求める声が出され、30年もの長期にわたる地域住民の強い要望により完成したものです。総工費は1億9430万円で、長さ34m、幅9.75mの片側一車線の車道と片側に幅2mの歩道があります。地域住民には念願の橋完成となり、安全安心と利便性が確保されました。



開通式でテープカットを行う宮路市長(左から2人目)



安全を折って渡り初め



春の全国交通安全運動

四月六日から十五日までの春の全国交通安全運動期間中、交通安全協会・PTA・市職員らが街頭指導を行い、六日には宮路市長も永田石油前交差点で街頭指導を行いました。市長は、通過する車や通学する小・中学生に声を掛け、交通安全に対する注意を呼びかけました。

四月二十六日、日置市シルバー人材センターの会員約六十人が、徳重神社と城山公園の清掃作業を行いました。これは、毎年四月と十月に行われているもので、十月には十日の「シルバーの日」に合わせて県道の清掃作業を行う予定です。

日置市シルバー人材センター ボランティア



地域の文化事業に貢献 イベント入場券販売委託契約調印式

日置市内にある十三の郵便局が市文化施設の自主文化事業入場券を窓口で販売することになり、四月十二日、市役所でイベント入場券委託契約調印式が行われ、日本郵政公社九州支社鹿児島本部の田島健治本部長と宮路市長が委託契約を交わしました。取り扱うのは伊集院郵便局のほか、東市来、吹上、日置など市内すべての特定局の計十三局。伊集院文化会館と東市来文化交流センターで開催する自主文化事業に関するチケットを販売します。



日置市・日置市内郵便局 イベント入場券販売委託契約調印式

伊中土屋くん表敬訪問

伊集院中学校の土屋潤くん（三年）が四月一日に福岡で行われた第五回九州選抜中学生柔道体重別団体優勝大会に県選抜選手として出場。見事優勝を飾り、四月二十八日、市役所を訪問。宮路市長と田代教育長に優勝報告を行いました。土屋くんの今後の活躍に期待します。



伊中土屋くん表敬訪問

ジェラート工房 パーチェオープン

牧場からの贈り物 農村地域に活気を

飯牟礼地区の内牧場（内俊隆社長）で、しぼりたての牛乳を使ったアイスクリームを製造、販売する「ジェラート工房パーチェ」の落成記念式典が四月五日に行われ、六日にオープンしました。しぼりたての新鮮な牛乳を利用した牧場でのアイスクリーム製造販売施設は県内初。酪農教育ファームとして消費者交流や酪農体験等に年間延べ六百人以上受け入れている内牧場は、県地域振興公社の畜産基盤再編総合整備事業を導入し、製造室のほか体験学習用の研



▲ イタリア語で「平和」の意味を持つ「パーチェ」屋根はコーンを表現

修室も整備しました。工房では「新鮮な牛乳の風味をいかした味を」と試行錯誤を重ねた十二種類のアイスクリームを製造販売する。店舗を切り盛りするのは、牧場後継者の四姉妹。内社長は「このアイスクリーム製造販売施設を通じて地産地消・食農教育を行い、生産者と消費者の交流をより一層深め、子どもたちにも食の大切さや乳製品の素晴らしさを伝え、地域の活性化に生かしたい」と笑顔で話していました。



▲ 落成記念式典でのテープカット



▲ 工房は姉妹で切り盛り

伊集院北中野球部優勝

県中学校春季選抜野球大会

四月二十二日から二十四日の三日間、鹿児島市市民球場と県立鴨池球場で開催された第三十六回県中学校春季選抜野球大会で優勝した伊集院北中野球部が二十八日、優勝報告のため市役所を訪問した。



大会は、県内各地区の予選を勝ち抜いた十六チームが参加。伊集院北中は、決勝で川内南中を二対〇で破り、見事優勝を飾りました。宮路市長は、訪れた選手達に試合の様子などを熱心に質問。主将の福元一星くんは「どの試合も苦戦を強いられたが、自分達の持てる力を存分に発揮し、優勝することができた。今度は夏の全国大会を目標に頑張っていきたい」と話していました。

見通しよく、走りやすい道路に

県道伊集院日吉線 バイパス開通

大田から飯牟礼に通じる県道伊集院日吉線のバイパスが、三月二十七日供用開始されました。開通式では、北園幸夫県土木部長を先頭に宮路市長や飯牟礼小学校四年生以上の児童、地元自治会の住民も参加して渡り初めを行いました。このバイパスは、長谷大橋、飯牟礼大橋からの景観もすばらしく、時間短縮等により、地域の活性化が図られると期待されています。



各地区で 伝統の踊りを奉納

郡・飯牟礼・上土橋 棒踊り

伊集院地域に伝わる伝統の棒踊りが各地区で奉納されました。この踊りは、五穀豊穡や家内招福などを祈願して各地区で毎年行われています。上土橋地区では四月二十七日、勝護院で小学生

から中学生までの十八人が勇壮な舞を奉納。同時に行われた運動会でも披露しました。郡地区では五月五日、二十七日の中・高校生が九玉神社に奉納。かすりの着物に、はちまき姿の踊り手たちが新築や初節句の家庭など約六十カ所を回り、棒や鎌を交えた伝統の踊りを披露しました。飯牟礼地区では五月十四日、地区内の上・中・大下の三集落から青壮年や中高生が参加し、熊野神社に奉納しました。飯牟礼地区の三集落はそれぞれ衣装や踊りも違い、飯牟礼大下は鎌を、飯牟礼中は棒を使った踊り、飯牟礼上は虚無僧踊りと各集落に伝わる踊りを披露しました。



▲ 飯牟礼棒踊り



▲ 上土橋棒踊り



▲ 新築や初節句で伝統の踊りを披露（郡棒踊り）

子ども会リーダー研修会

地域を越えた交流の場

一泊二日で気持ちが一つに

地域子ども会リーダー養成研修が、南さつま市の南薩少年自然の家で四月八日(土)から九日(日)の一泊二日で行われ、地域各子ども会から四十一人が参加しました。

初日は、日吉中央公民館から研修所までの約四十キロメートルを全員自転車で向かいました。南薩自転車道を利用しながら豊かな自然を満喫したサイクリングで、約二時間かけて全員無事に完走。



▶研修所までサイクリング

到着後さっそく入所式があり、三つの約束として「時間厳守・あいさつ・心のリレー」を掲げて研修がスタートしました。レクリエーションの研修では、小さい子どもとの接し方や、少人数でのグループ研修を行い、夜の部では勾玉作りで、みんな手を真っ白にしながらがんばって作り上げました。

二日目は、野外活動としてのカヌー体験があり、ほとんどの子どもがカヌー初体験の中、緊張しながらも楽しく一致団結しオールを漕ぎ、いつもの目線とは違う風景や、絶滅危惧種に指定されている野鳥の観察など、貴重な体験や感動を味わいました。

研修を無事に終了した子どもたちは、研修を通して学んだことを各地域のリーダーとして、積極的に子ども会活動に生かしていくってほしいと期待します。



▶研修も夜まで実施「勾玉作り」



▶緊張の中でのカヌー体験

スプリングコンサート in 日吉

音楽の調べで 日吉にさわやかな風を

春のイベントとして恒例となった第五回チャリティー・スプリング・コンサート in 日吉が、三月二十六日(日)、日吉中学校・日吉地域婦人会連絡協議会の共催で、日吉老人福祉センターにおいて開催されました。

日吉中学校卓球部二年生・日吉地域婦人会連絡協議会有志・コールド日吉有志によるコラボレーション(＝共演)により会場の雰囲気も最高潮に達し、会場がひとつになった様に感じられました。なお、これまでのチャリティーコンサートで、延べ十二の福祉施設へ収益金が寄贈されています。



▶会場と一体となった和の祭り



▶美しいハーモニーを披露「コールド日吉」

▶中学生による合唱

伊作和紙を復興 手すき和紙で地域おこし

鹿児島市で和紙アトリエ「T ane da」を開く、種子田幸廣さん(鹿児島市在住)とその仲間が制作した、和紙の照明器具などの作品展示会が、四月一日から五日間、吉利の原口集落の古民家で開催され多くの来場者でにぎわいました。種子田さんがこの地で和紙作りを始めようと思ったのは、以前、吹上地域で手すき和紙作りが行われていたことを知り、伝統の伊作和紙を復興したいとの思いからで、その歴史をたどる当時の話を地域の方から聞く中

で、吉利地区の原口集落で自生している和紙の原料となる楮(コウゾ)、鹿児島ではカジ)を発見し、和紙作り職人がいなくなってもこの「楮」が脈々と生き続けてきたことにとっても感動したことがきっかけだったとのこと。作業場となる古民家は、この趣旨に賛同した方から無償で借り受けたもので、一年余りをかけて展示スペースや紙すきの作業場を改修されたそうです。この作業場での制作は不定期になりますが、ボランティアで紙すき指導に出かけたり、作業場での紙すき体験指導もできる。「人々が楽しく集える場所として地域おこしにも協力したい」と、笑顔で話されていました。



▶工房で和紙づくりをする種子田さん

日ごろの練習の成果を 存分に発揮

第14回 日吉方面団消防操法大会

第14回日置市消防団日吉方面団消防操法大会が、4月16日(日)晴天にも恵まれ、大勢の市民が応援する中で開催されました。

当日は、小型ポンプ操法の部に7つの部が、ポンプ車操法の部に3つの部が出場し、7月19日(水)東市来地域の鹿児島県消防学校で行われる日置支部大会への出場を目指し、日ごろの訓練の成果を遺憾無く出し切り迅速かつ確実な動きを各部とも披露しました。成績は次のとおりです。

【小型ポンプの部】

優勝	南分団	北区部	(タイム 46.6 秒)
個人賞	指揮者	南分団 中区部	上原 伸一
	一番員	南分団 北区部	富ヶ原 隆司
		西分団 日新部	富ヶ原 貴幸
	二番員	南分団 北区部	原口 東
	三番員	東分団 笠ヶ野部	西原 俊隆

【ポンプ車の部】

優勝	東分団	住吉部	(タイム 第1線 58.7 秒 第2線 75.6 秒)
個人賞	指揮者	西分団 川西部	元山 盛一
	一番員	南分団 南区部	満富 英樹
	二番員	西分団 川西部	角 幸宏
	三番員	東分団 住吉部	堀 吉男
	四番員	南分団 南区部	上之園 博幸



▶小型ポンプの部優勝(北区部)



▶ポンプ車の部優勝(住吉部)



▶キビキビとした動作を披露

交通安全運動を展開 安全無事故で

四月七日(金)、春の交通安全運動の一環として日吉地域での広報パレード出発式が日吉支所で行われました。

出発式に先立ち、「交通安全いきいきクラブOO(ゼロゼロ)コンテスト」において、山田交通安全いきいきクラブが期間中の無事故無違反を達成したとして、伊集院警察署長から表彰伝達がありました。また、伊集院地区交通安全協会会長からは「優良運転者銅賞」の表彰もあり、地域から八人の方々が表彰されました。

交通安全運動の期間中、交通安全キャンペーンとして、交通安全協会・交通安全母の会・商工会青年部・各企業の方々・市職員らが、地域内の各要所に毎朝立つての児童生徒の通学指導や国道270号での街頭キャンペーンを実施しました。



▶朝の通勤時間に交通安全を呼びかけ



春の交通安全運動

カラフルな民族衣装のマレーシア研修生が「セーフティドライブ」を訴えました。



高齢者クラブ員約70人が薄暮の危険性や反射材の有効性を体験しました。



特産品直売所感謝祭

先着千人にひまわりの苗プレゼントも2時間ほどで終了。店内外に人があふれました。



ふんだんな花と野菜が好評。アスパラ入りおにぎりも瞬く間になくなりました。

平鹿倉ニジマス釣り大会

山あい太公望100人集う



旧平鹿倉小学校プールを活用したイベント「平鹿倉ニジマス釣り大会」が四月三十日、開催されました。大会には吹上地域をはじめ、鹿児島市などから約百人が参加。思い思いの釣りざおで三千匹に挑み、二十秒を超えるニジマスが次々と釣り上げられました。

野首地区運動会

老若男女が笑顔で参加



野首地区運動会が四月二十三日、同地区公民館庭でありました。自治会対抗で競う競技は、「縄練り競争」や箸をビンに落とす「ポットイン野首」など、老若男女が気軽に参加できるもの。鯉のぼり舞う館庭に、百二十人の笑顔がこぼれました。



▲ 小型ポンプの部優勝 坊野 ▲ ポンプ車の部優勝 和田

消防操法技術の向上と消防団員の意識高揚を目的に四月二十三日、吹上方面消防操法大会が吹上浜公園で行われました。大会には、小型ポンプに九支部、ポンプ車に五支部が出場、訓練の成果を披露しました。団員の一手一投足を市消防本部が審査。「終了します」の報告まで緊張感がみなぎります。審査の結果、優勝は小型ポンプの部が坊野部、ポンプ車の部が和田部、いずれも連覇を達成しました。主な結果は以下のとおりです（敬称略）。

小型ポンプの部		ポンプ車の部	
団体	1位 坊野部 2位 野首部 3位 浜田部	団体	1位 和田部 2位 吹上部 3位 湯之元部
個人	指揮者 能勢 新一(坊野) 1番員 向井 政敏(野首) 2番員 野添 誠(坊野) 3番員 漆島 久志(花田) 4番員 福田 誠(坊野) 5番員 魚返秀一郎(野首) 6番員 高田 利文(花田) 7番員 横山 勉(浜田)	個人	指揮者 軸屋 哲久(中央) 1番員 福添 良弘(和田) 2番員 下園 忠征(和田) 3番員 西園賢 弘一(吹上) 4番員 吉岡 良治(永吉) 5番員 中城 良治(永吉)

正々堂々、消防技術を競う

吹上方面消防操法大会



▲ 新しい設備でも製塩は手づくり

「吹上天然塩の会」（宮本哲哉会長）の新しい活動拠点「渚のあま塩館」が五月二日、入来浜にオープンしました。同会は平成十二年に発足以来、地域づくりを兼ねて、会員宅の庭先で塩焼きを行ってきました。地道な活動で確かな塩づくりに取り組みながら販路も拡大、全国各地に顧客もできました。完成した「渚のあま塩館」は、塩焼き小屋のほか、物産販売所

や体験施設を完備。吹上浜沖三キロからくみ上げてきた海水を船着場からパイプで圧送、光と風を使って濃縮する施設など、労力を軽減する設備も備えました。総事業費はおよそ三千八百万円。これまでの積立金や市補助金を充てています。拠点整備を機に有限会社を設立。「地域づくりの取り組みが皆さんの支援で、特産品として軌道に乗りました」と宮本さん。「手塩にかけた吹上の味をお届けします」と決意を新たにしています。

吹上浜渚のあま塩館開所

届けます！手塩にかけた吹上の味

吹上温泉春祭りが四月十六日、吹上温泉広場などで開催されました。この祭りは、温泉という地域資源を活かした地域づくりと、その利用促進を図ろうと、吹上温泉街活性化委員会が主催したもの。この日、温泉組合加盟旅館の温泉利用者には半額券が進呈されました。初の試みとして、ミスひおきをモデルに撮影会が企画され、多数の写真愛好家が参加しました。また、島津家ゆかりの温泉にちなみ、小学生を対象に「いろは歌かるた取り大会」も行われました。温泉広場の島唄コンサートでは、民謡日本一の唄者、中村瑞希さんらの澄んだ唄声が、春の温泉街に響き渡っていました。

吹上温泉春祭り

吹上よかところ お湯のまち



▼ 春の陽気に踊りにも飛び入りが



▲ ミス日置をモデルに撮影会



伊作川で大ウナギ捕

体長1.3メートルの川の主

下与倉の伊作川で体長一メートル三十分、胴回り三十センチの大ウナギが捕獲されました。この大ウナギは四月六日、河川改修工事の業者が発見、生態に詳しい高橋正和さん（宮坂）に捕獲を依頼したものの、高橋さんによると背中中の模様から「ゴマウナギと呼ばれ、皮が厚く脂が少ないのが特徴」。伊作川がきれいな川に戻った証拠と高橋さん。しばらく自宅の水槽で飼いながら、見学者に自然との共生も訴えました。大型の水槽とはいえ、大ウナギには窮屈なスペースでした。後日、川に返された川の主は悠々と泳いでいったということです。

異文化交流 日置市の国際交流促進に！

異文化理解への掛け橋として

“心と心をつなぎたい”

韓国から金信愛さん着任

活躍に期待

日置市の新しい国際交流員（CIR）として金信愛（キム・シンエ）さんが着任しました。キムさんは、韓国・慶尚北道の大邱（テグ）市出身の二十四歳。経歴としては、韓国の啓明大学で三年間日本語学を専攻、沖縄の琉球大学にも二年間留学し日本文化を研究。その間、ボランティア活動にも積極的に参加されています。

この交流員の招致は、総務省などが進める「外国青年招致事業」で、キムさんは四代目、ザカリアさん（吹上支所勤務）が二代目として、本市の国際交流事業の企画立案や通訳、韓国語教室・講演を通じ、学校や市民の異文化理解のための交流活動を行います。

キムさんの任期は一年（更新により最長三年間）、東市来支所地域振興課で勤務します。一國と国をつなぐような大きなこと



職員から歓迎を受けるキムさん

はできないかもしれませんが、心と心をつなぐ架け橋の役割を通して、韓国と日本のより近く親密な関係作りに微力ながらお役に立てればと思います」と、抱負を語ってくれました。趣味はピアノ演奏、映画鑑賞、読書。吹上支所で勤務するマレーシアからの国際交流員ザカリアさんとも力をあわせ、交流の輪が広がることを期待します。



おめでとう

このコーナーに掲載を希望されない方は手続きのときに、お申し出ください。

伊集院地域 4月受付分(敬称略)		吹上地域	
水口 結月 (出生児)	和明 (保護者)	上蘭 藤藏 (出生児)	晋拓 (保護者)
吉岡 龍生 (出生児)	下神殿2区 (自治会)	福田世麿人 (出生児)	小牧 (自治会)
福留 侑志 (出生児)	郡上 (自治会)	佐野 史佳 (出生児)	公一 (保護者)
翁 さくら (出生児)	麦生田西 (自治会)	豊永 愛叶 (出生児)	尚弘 (保護者)
泊 香遥 (出生児)	徳重東 (自治会)	峯苦 由奈 (出生児)	北湯之元 (保護者)
清水 真一 (出生児)	妙門寺3区 (自治会)	杉本 佳将 (出生児)	東宮内 (保護者)
小田 佳真 (出生児)	下神殿2区 (自治会)		緑ヶ丘 (保護者)
山下 廉翔 (出生児)	妙門寺3区 (自治会)		
吉村 岳人 (出生児)	瀬戸内 (自治会)		
徳重 未渚 (出生児)	妙門寺7区 (自治会)		

おひやみ

伊集院地域 4月受付分(敬称略)		吹上地域	
田口 亨子 (出生児)	妙門寺9区 (自治会)	山ノ内アキ (出生児)	上草田 (自治会)
原之園シヅ子 (出生児)	中福良 (自治会)	竹之内アキ (出生児)	入来 (自治会)
柿内 喜一 (出生児)	下土橋 (自治会)	内門 正徳 (出生児)	入来浜 (自治会)
湯山カヅ子 (出生児)	飯牟礼下 (自治会)	坂口 俊夫 (出生児)	上和田 (自治会)
西郷 ヒロ (出生児)	荒瀬 (自治会)	山ノ内ノブ (出生児)	上和田 (自治会)
東 サナ (出生児)	中川 (自治会)	窪田フチノ (出生児)	上与倉 (自治会)
本村 義光 (出生児)	向江町 (自治会)	坊野 ヨ子 (出生児)	梅里下 (自治会)
本村 西男 (出生児)	麦生田下 (自治会)	満留 ヒナ (出生児)	中田尻 (自治会)
本村 西男 (出生児)	瀬戸内 (自治会)	寺園 美幸 (出生児)	上田尻 (自治会)
東 カヲル (出生児)	大田上 (自治会)	秋葉キミ子 (出生児)	下田尻 (自治会)
原之園末盛 (出生児)	麦生田西 (自治会)	小河原マキ (出生児)	西本町 (自治会)
新山 慶次 (出生児)		青山 和美 (出生児)	中津 (自治会)

東市来地域 (故人)		吹上地域 (故人)	
森重 斉 (享年)	麓上 (自治会)	松原 敏子 (享年)	住吉 (自治会)
森園ツルエ (享年)	城之町 (自治会)	山口 榮作 (享年)	帆東 (自治会)
東 文夫 (享年)	下養母下 (自治会)	松原 敏子 (享年)	住吉 (自治会)
町田 松男 (享年)	萩 (自治会)	山口 榮作 (享年)	帆東 (自治会)
重水スミエ (享年)	梅木 (自治会)	山口 榮作 (享年)	帆東 (自治会)
重信 博文 (享年)	田之湯 (自治会)	山口 榮作 (享年)	帆東 (自治会)
永井シヅ子 (享年)	美山上後 (自治会)	山口 榮作 (享年)	帆東 (自治会)
堀之内 斉 (享年)	皆田西 (自治会)	山口 榮作 (享年)	帆東 (自治会)
宮前ツルエ (享年)	丸牧 (自治会)	山口 榮作 (享年)	帆東 (自治会)

※今月号から住所地での掲載に変更しました。
 ※訂正とお詫び
 広報4月号のP17「戸籍の窓 おめでとう」の記事中に誤りがありました。次のとおり訂正してお詫びします。
 東市来支所 誤 ↓ 正
 永野 龍神 ↓ 永野 龍伸

お知らせ

鹿児島地方法務局 市来出張所を統合

これまで、日置市東市来地域及びいちき串木野市の登記事務（不動産・財団等）は、鹿児島地方法務局市来出張所で取り扱ってきましたが、平成18年7月18日(火)から日置市東市来地域の登記事務を鹿児島地方法務局で、いちき串木野市の登記事務は鹿児島地方法務局川内支局で取り扱うこととなります。

なお、登記簿謄本（登記事項証明書）等は郵送でも請求することができます。

【お問い合わせ先】
鹿児島地方法務局
 〒890-8518 鹿児島市鴨池新町1番2号
 ☎099-259-0680
鹿児島地方法務局市来出張所（※平成18年7月14日まで）
 〒899-2101 いちき串木野市湊町2837番地
 ☎0996-36-2018



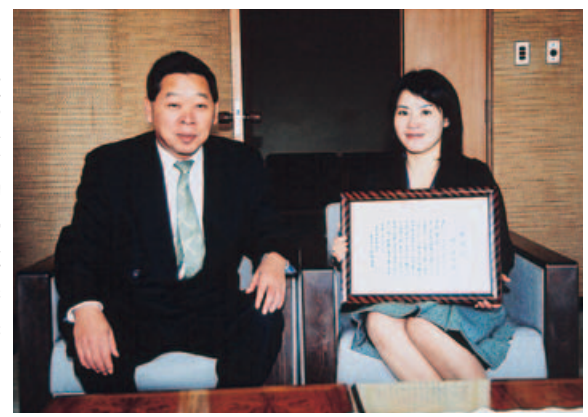
▲鹿児島地方法務局庁舎案内図

ソン・ヒチョルさん 3年間ありがとう

日置市国際交流員の成 希哲（ソン・ヒチョル）さんが3年間の任期を終え、3月19日に韓国へ帰国しました。

ソンさんは、平成15年4月から旧東市来町および日置市の国際交流員として勤務し、市内小・中学校の「総合的な学習の時間」などで韓国の文化・風習を紹介。韓国南原市との青少年交流事業や韓国文化交流事業では、優秀な語学力を生かし日本と韓国との連絡調整や翻訳・通訳に積極的に取り組み、両国の架け橋を担っていただきました。

ソンさんは、「日置市で学んだことを今後の生活に活かしていきます。3年間本当にありがとうございました。」と、思い出をかみしめながら話していました。



三年の思いを胸に宮路市長にお別れのあいさつ



ギョウワロー 私の作品展

「和紙ちぎり絵」

観音寺 恵美子さん(62歳) 吹上町中原

和紙ちぎり絵を通していろんな人と出会うのが楽しみ。和紙ちぎり絵に興味を持ち始めた時に、先輩に声をかけられたのが始めたきっかけで、今年で9年目。自主講座の講師を務め、仲間と習作の勉強をしながらオリジナル作品にも挑戦。題材探しに悩みながら、構図決め、和紙選び、貼る作業など、細かい作業を経て完成した作品には愛着と、ひと仕事終えた喜びを感じます。



「躍動(伊作太鼓踊り)」



ウォッチ まちの文化財 ⑫

円福寺跡と伊集院忠国夫妻の墓(伊集院地域)

伊集院地域の寺脇自治会に円福寺跡があります。20基ほどの石塔が残っており、その中に南北朝時代に活躍した武将伊集院忠国(生没年不詳)と夫人の墓があります。

伊集院忠国は島津氏の分家で、伊集院一帯を支配していました。1336年に朝廷が南朝と北朝に分裂し、全国各地で戦いが始まりました。島津一族の大部分は北朝方につきましたが、忠国は南朝について島津本家と対立しました。忠国は南朝方の重要人物として、一宇治城(現在の城山公園)を本拠地に各地で戦いました。

忠国は1337年に阿多(現在の南さつま市)や市来で戦いましたが、次第に戦況は不利になり、1340年に一宇治城から撤退しました。その後、次第に勢力を盛り返した忠国は、1342年に懐良親王(または「かねながしんのう」)を助けて谷山で戦い、1345年頃には一宇治城を取り返したようです。1350年に郡山(現在の鹿児島市)の松尾城を攻め落とし、領地を拡大しました。1360年頃には本家と和解し、戦いを終えたようです。

忠国の眠る円福寺は、建てられた年是不明ですが、様々な資料から平安時代末期(12世紀末)から存在した可能性があり、そうであれば伊集院で最も古い寺になります。

引用参考文献 『伊集院町誌』



▲中央が忠国、向かって左が夫人の墓

Access 本庁から車で 東市来方面へ10分

訂正とお詫び

広報4月号のP19「ウォッチまちの文化財⑫」の記事中大放年選のふりがなに誤りがありました。次のお詫び訂正してお詫びします。
誤 正
おおむなち ⇒ おおむち

日置市の未来に向けて、わたしにできる三つのことを考えました。まず一つ目は、気持ちのよいあいさつ



ゆめ & チャレンジ

『日置市の未来に向けて』

日置小学校六年 大樂 侑実さん

日置市の未来に向けて、わたしにできる三つのことを考えました。まず一つ目は、気持ちのよいあいさつ
二つ目は、自然を大切にすることです。きれいな海や緑に囲まれた素晴らしい日置市。この自然を守っていくことが大切です。
三つ目に、協力し合えることです。わたしのクラスは、決まるとまりのあるクラスとは言えないクラスでした。でも、六年生になった今、みんなの気持ちが少しずつ変わってきました。「協力し合いたい。」という雰囲気が出てきたのです。みんなが心を一つにすれば、必ず素晴らしいクラスにしていけることができる気がします。だから、日置市もみんなが協力し合える町にしていきたいです。

いきいき ひと

シリーズ⑫



「昭和26年、日置中学校(現在の日吉中)を卒業後すぐに、たばこ栽培をしながら、木挽き(こびき)切り出した木材を材に仕立てる仕事)や瓦焼の薪を運んだりする林業関係の仕事に就いたのが山との出会い。今では山での作業が生きがい!」と、当時の苦労話や山を離れ運送会社に勤務した経緯など、間伐作業の手を休めてにこやかに語る牧内さん。
牧内さんは、これまで住吉集落会長を8年間務め、本年4月からは草原自治会長として昼夜を問わず地域活動の先頭に立って一生懸命です。何事にも前向きな牧内さんですが、「自治会長の仕事は大変で業務や行事がたくさんありスムーズに運営していきたい」と、すでに今年の夏祭りの企画準備にも抜かりがありません。
山を愛する気持ちが人一倍で常に山との関わりを大切にしている牧内さんは、趣味も「山に関するものが全部」と。山へ行けない雨の日には近くの山の様子を眺めたり自治会の仕事を片付けて、チェンソーなど山道具の手入れをしたりすることが楽しみ。「手入れが行き届かない山を見ると残念で手入れをしたくなる。もっとみんなの関心を持って」と、やさしく目を輝かせながら、黙々と仕事を続ける牧内さんでした。

第二の人生 山にたずさわる生きがい



牧内 重光さん [70歳]

まきうち しげみつ 日吉町日置(草原自治会)

20年間勤めた運送会社を平成7年に定年退職。その後、当時のひおき森林組合日吉支所の川野氏からの強い要請もあり、ひおき森林組合に勤務、鹿児島県の森林施業推進委員としても活動されており現在に至っています。また、地元でも定年を待っていたかのように集落会長を8年間務め、現在は草原自治会長として地域に貢献されています。



島田 伊織くん(3歳11か月)

父 孝志さん 母 里和さん (吹上町中原)

■おかあさんから 6月で4歳になります。いろんなことに興味を持って、元気いっぱいたくましく育ってほしいです。



池田 ひかりちゃん(8か月)

父 修一さん 母 千鶴さん (伊集院町下谷口)

■おかあさんから 最近は歩行器乗りも上達してきて、家中を駆け回っています。元気で素直に、又、たくましい女の子に育ってね。

元気のあるお子さんの写真を募集しています。市内に在住の6歳以下のお子さん 氏名 生年月日 保護者氏名 お子さんの近況・お子さんへのコメント 広報へのご意見連絡先を添えて、市役所総務企画部企画課 住所は未定までお送りください。